

最優秀親子ら表彰

福島民報社「私と新聞」作文

読む知る学が E! 新聞

福島民報社が主催する第九回「私と新聞」親子作文コンクールの表彰式は十六日、福島市の民報ビルで行われた。

大関幸(こう)さん(九)、会津若松市、会津若松ザベリオ学園小三年母美華さん(四)、中学生の部の菊地末柚さん(四)、白河市、石川義塾中二年母美希さん(四)、優秀賞

の小学生の部の八木橋環さん(二)、会津若松市、一箕小六年母枝さん(四)、郡司幸(さち)さん(二)、田村市、関本小五年母千春さん(四)、中学生の部の遠藤萌花さん(二)、福島市、福島三中一年母陽子

さん(四)、今泉葉花さん(四)、いわき市、小名浜一中二年母尚子さん(四)が出席した。

福島民報社の佐久間順地域交流局長が「これからも新聞を傍らに、日々の生活を豊かなものにしてほしい」とあいさつし、一人一人に表彰状と記念品を手渡した。審査員を務めた県教育庁東北教育事務所の花輪忠康学校教育課指導主事は「問題意識を持って記事を読む大切さや、知的に探求する面白さを感じた。ますます新聞に親しんでほしい」などと



表彰式に臨んだ(前列左から)大関美華さんと幸さん、菊地末柚さんと美希さん、(後列左から)郡司千春さんと幸さん、八木橋民枝さんと環さん、遠藤萌花さんと陽子さん、今泉葉花さんと尚子さん

講評した。コンクールは家庭や学校で新聞に親しんでもらう「読む知る学」『E!新聞』プロジェクトの一環として、県教委の後援で行った。親子合わせて四百七十九点の応募があった。(受賞者名は6日付に掲載。25面に受賞作品紹介)